

# 平成22年度第2回「仙北市立病院等改革推進計画」検証専門委員会

## 議事録

- ◆ 日 時 平成23年2月2日(水) 17:00～18:05
- ◆ 場 所 仙北市総合情報センター 2F会議室
- ◆ 出席者 【委員】 委員長他4名 合計5名  
【市】 市長・総務部長・総務部次長・市立病院事務長等・医療局職員(事務局)
- ◆ 検証事項 1) 市立病院の平成22年度上半期の運営状況について  
2) 仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について  
3) 医療局の設置と病院事業組織機構の改編について  
4) その他

\*\*\*\*\*

### 1. 開会(17:05)

### 2. 市長あいさつ

本当に皆様お仕事お疲れのところ、またお足元の悪いなかお集りくださりましてありがとうございます。今日は平成22年度第2回の仙北市立病院等改革推進計画の検証専門委員会ということで協議事項、検証事項に掲げさせていただいています4項目について皆様からご意見を頂戴したいと思っておりますのでどうかよろしくをお願いします。

全く別の話しですが、今日から仙北市の職員が市内の高齢一人暮らし世帯や身障者の方々のお宅もしくは交差点でかなり高くなっている雪の切り崩しで活動をさせていただいています。職員から色々と話しを聞くと大変喜んでいただいたということもあるのですが、豪雪に対する備えというものに対して色々なご意見も頂戴したようです。雪と暮らすということは北国の私達の宿命ですが、そのなかにあっても暮らしの安全安心を守ることが皆さんとても不安に感じているようで医療も全く同じです。医療の場合は雪が消えてからどうだという話しでは全くない訳で、年がら年中大変激務のなかでお医者さん方が活動されている訳ですが、その活動の環境づくりというものを是非行政はこれから第一の課題・目標・解決しなければいけない事項と捉えていきたいと思っております。どうかよろしくご協議をお願いします。

### 3. 委員長あいさつ

本日は皆さんどうもお疲れさまです。市長もおっしゃっていましたが、大変な雪で今日は小康状態になりましたが皆様大変ご苦労されていると思っております。余談になりますが、この会場の前もかなりの雪で入口が見えないような状態になっていますが、私すぐ近所に住んでいて実はこの4日ばかり流雪溝が全く使えない状態になってしまっていて、こういう状態は何とかしていただきたいと市長に節にお願いしたいと思っております。それはさておき、本年度の第2回の検証専門委員会ということで、上半期の運営状況その他色々報告事項検証事項があるようですので、皆様にはよろしくご協議をいただきますようお願いいたします。

事務局(医療局医療管理課)

ありがとうございました。続きまして市の参与職員について一括して紹介します。

門脇市長、佐藤総務部長兼医療局長、高田市立角館総合病院事務長、熊谷市立田沢湖病院事務長、藤村総務部次長兼政策推進課長、杉澤市立角館総合病院総務企画課長、藤村市立田沢湖病院総務管理課医事係長、佐藤医療局医療管理課課長補佐、大澤医療局医療管理課管理係長、千葉医療局医療管理課総務係長です。よろしくお願いいたします。なお、羽川医療局医療管理課主任が所用により欠席していますのでよろしくお願いいたします。それでは早速検証事項ということで協議に入らせていただきます。ここからは鬼川委員長さんの議事進行によりお願いします。よろしくお願いいたします。

#### 4. 検証事項

委員長

それでは検証事項ということで一つずつ進めたいと思います。まず1番、市立病院の平成22年度上半期の運営状況について協議したいと思います。事務局のほうから説明をお願いします。

資料説明（事務局：医療局医療管理課）

- ・資料1 「平成22年度上半期仙北市病院事業の総括事項」
- ・資料2 「平成22年度上半期仙北市病院事業の実績」
- ・資料3 「両病院上半期年次別入院・外来患者数の実績」
- ・資料4 「両病院等上半期地区別利用者数（入院・外来）の推移」
- ・資料5 「両病院上半期収支決算の状況（過去3年分）」

委員長

ありがとうございました。ただ今の説明に対しまして委員の方から質疑をお願いしたいと思いますがどなたかありますか。

委員長職務代理者

資料が上半期のもので、下半期にこれから燃料費等をはじめとする施設管理費等諸経費も増大ということで、全体像が上半期だけの資料だとわかりづらい面が多いのですが、いずれにせよ今の説明をお聞きしますと計画よりはかなりの良いペースで改善傾向があるということでしょうか。その改善傾向の基となったこの収支が改善したために今までの損失が減少してきたということが言えるのでしょうか。資料5の例えば収入が増えた支出が減ったというどの部分が好転・改善されたために経営状況が良くなっているということはおわかりですか。

委員長

角館総合病院からよろしいですか。

事務長（市立角館総合病院）

角館病院ですが、今年の診療報酬改定関係は我々には全く恩恵がない状態です。若干入院患者・外来患者さんが落ちていますが幸いに診療単価そのものが若干伸びています。その関係で収入が思ったほど減らないというのが一つで、収入は患者数は落ちていますがある程度の増加を見ているという状況です。それから経費的には人件費が若干落ちている関係で今の段階の見込みでは本体の部分は収支トントンぐらいになると、ただし最後に消費税の計算があり、この消費税の計算で発生する雑損失分が病院ではだいたい年間毎年7千万円から7千5百万円の間で計上しなければならないということになります。今回も今の決算段階の見込みでは消費税の雑損控除をする部分のみがほぼ赤字と計上されるというような見込みです。

委員長

田沢湖病院についてはいかがですか。

事務長（市立田沢湖病院）

総括で記載していますように入院患者・外来患者ともに若干増えています。増えて収入も上がっていますが、逆に経費の部分で薬品費・診療材料費等が増えてきていますのでなかなか好転しないという部分があります。一般会計からの繰入金ですが、前年度は不採算地区病院の関係で下半期に大きいものが入った訳で、最終的に4千3百万円ぐらいの赤字で抑えられた訳ですが、今回は4月に一括してほとんどいただいているという関係で若干数字的には良いような感じはしますが、これから後半も非常に厳しいという状況です。

委員長職務代理者

そうすると上半期の資料5になりますが、職員給与費でいくと市立角館総合病院はそんなに変わってはいませんよね。むしろ増えていますよね。田沢湖病院も増えていますよね。

事務長（市立角館総合病院）

角館病院の上半期ではほぼ去年同期と同じぐらいの金額となっていますが、実は年度途中の退職者が相当いますので結果的に年度末では人件費が若干落ちると。それから非常勤の先生方をお願いしている訳ですが、去年ほど経費的に掛かっていないということで若干落ちるのではないかと見込んでいます。

事務長（市立田沢湖病院）

田沢湖病院ですが人件費の部門で事務部門と給食部門は減です。ところが医師が1人増ということ、それから非常勤の先生の報酬につきましてあまりにも去年まで安かったということで、角館総合病院を参考にして上げた経緯がありましてこの分が増えているということです。

委員長職務代理者

そうすると1番下から2番目の職員給与費対医業収益比率が上半期で角館総合病院は66.4%というのは今年度末で下がる訳ですか。

事務長（市立角館総合病院）

これは若干下がると思います。

委員長

よろしいですか。他にありますか。

委員

全体的な印象としては病院として少しずつ効果が見え始めているような感じを受けるのですが、例えば角館病院に入院患者が減ってきていることが一つあること、もう一つ田沢湖病院は身障者の病棟を設けたために増えたのか、それとも生保内の人達が病院に戻って来ているのか、そのへんの患者の動向はどんな感じなのか。

事務長（市立田沢湖病院）

患者さんが増えているということはやはり障害者施設等一般病棟の患者さんが増えているということなのかと思います。病床利用率も今現在で78.5%ぐらいですが、それが今の13対1の基準

でいきますと看護師ギリギリの状態です。全体入院患者の7割が障害者であるということで、実際中身を見ますと生保内・田沢地区の患者さんも90%台というデータが出ているということです。

事務長（市立角館総合病院）

角館病院ですが入院患者は確かに減っております。一番多く減っている診療科は循環器内科関係、上半期部分の比較ですがこれで1,100人ほど減っています。やはり内科の先生が充実していないという部分があるかと思えます。もちろん去年若干ですが病床数を減らしたというのも原因であろうかと思えます。

委員

基本的には医者が例えば角館病院であれば循環器の医者がもう少し増えれば今後また更に発展していくということで、医療の面とか、あと看護師さんはどうなっていますか。看護師の規模は足りているのですか。

事務長（市立角館総合病院）

今7対1基準を採っていますが、基準からすると12月は若干看護師が足りないということでベットの調整をしなければならないという事態がありました。これは12月で13人の産休・育休が今回すごく多くて、その他に病欠が3人で看護師が16名ほど休んでいるという関係でベット調整をしなければならないという事態でしたが今は回復しています。4月からは徐々に産休の方々が明けてきます。あとは新規採用が4月1日付けで5人でした。看護師はそれなりに何とか持ちこたえるという状況になっています。

委員

田沢湖病院は医者一人増えましたよね。外来患者はかなり違いますか一人増えるだけで。

事務長（市立田沢湖病院）

外来患者さんが増えているのは整形外科が今まで週1回だったものが週2回になっていること、耳鼻咽喉科も週1回だったものが2回になっているということで、そういった関係で増えているという状況です。

委員長

他の委員はいかがですか。

委員

まずは病床利用率が大事だと思うのですが一応目標以上達していますね。先生方看護師さん方スタッフの皆さんも頑張っているからだと思います。それから角館病院の循環器は前高橋先生がいたのでその分アルバイトの先生で賄っているから少ないのはやむを得ない、でも消化器とか増えているとか総合診療科が新設になっているからその分増えている、その分を補っても全般的にはもう少し下がっているのですが、その分増えていることになりますからまずそこそこですね。

事務長（市立角館総合病院）

消化器のほうは70人ほど増えています。

## 委員

増えていますものね。それこそポリープ切除も増えているから一人当たりの金額も当然施術料と同じですから増えていますよね。検査も増えているから。

## 事務長（市立角館総合病院）

それから精神科を昨年20床減らしたのでその分が減っているという部分も加わりますので。

## 委員

今田沢湖病院では毎日入院患者さんの調節をされているということですが、上手くベットが空けば誰かが入るようなかたちになっているのですよね。

## 事務長（市立田沢湖病院）

そのとおりです。藤村係長が病床運営委員会の委員ですが、毎朝8時10分から医師と看護師と事務担当でその日の病床数を確認して、今の状況であれば1人今日は入院させられるとかという情報を毎日やってそれを外来に下ろすということをやっています。もっと病床率を上げたいところですが、看護師の数が足りなくて今78%あたりがギリギリの状態ということです。

## 委員長

他の委員からいかがですか。

## 委員

私は国保の特別会計を預かっている関係で、病院が潤えば国保がマイナスになってくるという非常に矛盾したかたちのなかで行政を担っていますが、いずれ病院側には経営ももちろんですが受け入れ態勢だけはしっかりしていただければありがたいと思っていますので、一つの要望としてこの場で伝えたいと思います。よろしくお願いします。

## 委員長

最後に私からですが、他の先生からの話しにもありましたが、看護師ももちろんですが医師がちゃんと確保できているかどうかということがかなり収益には一番の影響があると思います。角館病院は自治医科大学のほうの関係でいらしていた先生ご夫妻が今度3月で退職されますよね。その後の診療体制とかそういうのは他の科も含めてどういう状況なのか、それから田沢湖病院ではどなたか先生が辞める辞めないという噂が聞こえてくるものですから、もしそういうことになるとまた大きな問題が出てくるのかなという気もしますので、そのへんのところどうなっているのかわかる範囲で教えてくださいたいと思います。

## 事務長（市立角館総合病院）

角館病院に今自治医科大学から来ていますご夫婦の先生ですが、お二方は3月で当院から転出されるということで、これに対して自治医科大学の義務年限の先生は1人当院に配属になることになっています。先生ご夫婦には旦那さんが総合診療ということでお願いしていますので、もしまた今度来られる新しい先生もそちらのほうを担当していただければと思っています。奥様は小児科の先生です。それでは小児科の先生がいなくなるということで、今院長が色々秋田大学の教授と色々とお話しをしまして、常勤で何とかなるのかならないのか、非常勤では週に何日なのか、まだはっきりしてないのですが、非常勤ではよこしてくれるというような感触を得ているようですが、今盛んに院長が大学側と交渉している状況です。

## 委員長

医師が確保できるかどうか、循環器も含めまして、結局そのところが非常に最終的に重要なことになってしまうと思うので、こればかりは頑張ったからどうなるというだけのものではないので致し方ないところがありますが非常に心配なところがありますね。田沢湖病院はどうですか。

## 事務長（市立田沢湖病院）

先生達のほうに色々情報が入っていると思います。就任してまもなくですがなかなか常勤医3人がやっていけないというような状況のなかで色々やりとりをしている訳ですが、市長にも入っていただきながら調整を進めているところです。

## 委員長

努力していただくしか仕方がないのですが、こればかりはなかなか上手くいく話しではない、この後の話しにも色々絡んでくるので次に進みたいと思います。

では2番の仙北市立病院等改革推進計画の進捗状況について事務局から説明をお願いします。

## 資料説明（事務局：医療局医療管理課）

### ・資料6 「市立病院等改革推進計画進捗状況」

※管理者に関しては市長から説明

## 市長

時間がかかりましたが、何人かの先生達と色々なお話しをさせていただく機会を設けていただいて手探りな状況もあった訳ですが、自分がこの方に仙北市の医療事業をお任せしたいという方と出会うことが出来たと、その方というのは長野県の飯田市にお住まいの宮川信医師という方です。飯田市立病院の名誉院長さんをお勤めになられた方でありまして、現在も幾つかの大学で教鞭もとられています。地域医療に対して非常に熱意のある方だと推察しました。宮川医師は、現在全国自治体病院協議会の顧問もお勤めだということで大変お忙しい方なのですが、仙北市で行政とそして地域の医師の皆様とそして市立病院と一緒に地域医療について頑張りたいということも確約をいただきまして、来年度、今年4月1日から着任をいただける運びとなったものです。皆様には本当にこれからも様々な場面で話し合いをいただく機会もしくはご協力をいただきたいということで本人も話しをしておりますが、これから皆さんとまた密に連絡を取り合うということになると思いますので、どうかご協力をよろしくお願い申し上げたいと思います。

## 委員長

この件に関して何かご質問ご意見ありますか。

## 委員

医療局が期待される場所は、しばしば公的な病院だとか診療所で、あまり業者を叩くということが少なく、高い値段で仕入れざるを得ないということがありますので、医療局の仕入れとして材料費を統一すればある程度無駄は省けるということです。それから期限切れがありますよね。そのへんのこともしっかりと調節すればかなりの無駄が省ける、利益うんぬんよりも無駄が省けるのではないかと思います。材料は病棟や外来に死蔵されているんですね。統一して病院2つの分を統一するのは大変です。どうしても医者は自分の使っている材料を使いたいというのがあって、いつも刺し慣れている注射器だとか機械がどうしても必要なこともあるのでそのへんのことにはやむを得ないと思いますが、点滴の中身だとか薬はだいたい同じでしょうからそれはかなり期待される場所だと思います。やはり管理しなければならぬ。一つ一つの棚を管理する人が病棟でも外来でも看護師さん事

務の人でもいいですが、やはり常に在庫と日切れを確認してくださることが大事ではないかと思ひます。そうすればかなり違ってくると思ひます。

委員長

病院事業管理者の件についてどなたかありますか。

委員長職務代理者

全くこの地域から離れた視点で、地域で見ている視点も必要ですし、また地域から離れた視点でこの2つの病院をどういふふうで経営していくかというの、検証していただくことは非常に良いことだと思ひます。ネットで流れているのですが、実は亀田病院という非常に大きな千葉県の病院があるのですが、ブログではなんか破綻しそふだと、千葉県のほとんどの救急を亀田病院が引き受けざるを得ないような状況で、疲弊に疲弊を重ねてもうほとんど重症は引き受けられないというような記事を見ました。千葉県でさえそふいう状況に追い込まれている、首都圏ですぐ東京なので千葉県の亀田病院もそふいう状況かと非常に驚いたのですが、やはり千葉県でさえそふいう状況なので色んな視点から色んな検証を受けていただくというの、非常に良い部分だと思ひます。そうするとこの計画が変わってくる可能性がありますね。これからの計画は段階的に事務局ではお考えなのですか。

市長

医療局の管理者として宮川先生をお迎えしたいというその条件の中には、今まで私たちが積み上げてきた皆さんで積み上げてきた内容も話しています。ここからがスタートだというご了解をいただいているという状況だと自分は認識していますので、管理者の資質、管理者の考え方で今までの仙北市の医療のあり方みたいなことが大きく変わっていくというようなことは考えていません。今まで私達が行なってきた皆さんで一生懸命積み上げてきた方向性みたいなものを、粗粗ですが話させていただきます。それはご理解をいただいていると自分は認識しています。

委員長職務代理者

推進計画は今年3年目になるのですか、3年目に入りますね。とすると管理者が入ってこふいう会議にもやはり管理者として宮川先生には出ていただかなければいけない。

市長

この後は当然そふなると思ひます。

委員長

ぜひそふいうふうにお願ひしたいと思ひます。今、先生からもありましたが、そふは言っても実際にここに来て病院とか地域医療の状況をみると、ちょっとこれはまずいのではないかと、我々地元でいるとわからないそふいう視点というの、かなり出てくるのではないかと、場合によってはその意見を聞いて、この計画を修正するとかそふいうことも当然出てきて然るべきではないかと思ひます。そふでなければわざわざ外からそふいう方をお招きする意味がないのではないかと思ひますので、宮川先生が何かこれはまずいのではないかということがもし出てきたとすれば、そのへんは柔軟に協議するというような体制も必要ではないかと思ひます。

市長

委員長のお話のとおりで、今回のこの医療局の動きであつたり、もしくは仙北市の医療の地域医療の底上げであつたりというようなことの粗粗の部分は話しをしています、例えば来年度の医療局の予算がもう編成の時期になっていますが、そこでも新管理者の意思を反映できるような糊しろを作

るとか、様々なところで当然宮川管理者の思いを反映出来るような状況を作るというのも私たちの事前の準備の仕事ですので配慮しているつもりです。

## 委員

医療局に期待するのは、まず今一番の医療崩壊、医療の現状が厳しいのは人材がないことなんですね、医師がいない。ただ、だからと言って今すぐに手に入るかと言うとそういう体制は整えられない。だからこういう状況のなかではまず身内を固めるのが大事なことだと思っています。そういった時に田沢湖病院と角館病院あるいは診療所というものが一体化していく、そういうことが必要だと思いますね。だからこの医療局を通してそういう全体の病院とかお医者さん達、あるいはコメディカルの人達をいかに配分良くやっていくか、例えば僕のところでは最近スタッフもだんだんと充実してきたのですが、何年前はなかなか十分に動いてくれるスタッフがいなくて困ったのですが、そういった時に例えば医療局がそこにどういう看護師さんを配置しましょうとか、そういう人的な配慮をして足りないところには補う、あるいは一時的なバイト的なことでもいいから非常勤的に回してもらおうとか、そういう全体を配慮して仙北市全体の医療の問題点をきちっと把握してそういう大きな視点からものを見ていってもらいたいというのが私の気持ちです。ただ具体的にはなかなかまだ初めて来た人で、現実を知るのにはまだ時間もかかるし有力なスタッフをそこに付けていかないと管理者は動けないと思うのですが、角館病院とかあるいは田沢湖病院からその病院のことを良く知っている人達が管理者を補佐して、全体の何かあればすぐにそういう現状、苦しいところとかを報告してくるようなそういう体制、周りを固めていく必要があると思いますしそうやってもらいたいと思いますね。

## 市長

まさにそのとおりで、例えば12月に医療局の準備室を設置したり、1月に医療局を既にスタートさせたという背景にはそのような体制を早く作るということで、宮川管理者に4月1日に来ていただいた時の環境づくりを行なっているということで取り組まさせていただいているという状況です。それから、田沢湖と角館もしくは診療所もしくは民間の開業する医師の方々等々とのその連携をどうやっていくかという総合プロデュースの仕事を医療局は行なう訳でありまして、人事であったりもしくは予算、事業等の目配り気配りをさせていただきたいということで医療局の存在の意義があると考えています。

## 委員長

私はあまりよく存じ上げないのですが、ご高名な先生が来ていただくということは非常に喜ばしいことだと思いますが、ただそういう方を任命して、言わずもがなのことですが、組織を作ってそこに人を置いたから良くなる訳ではもちろんありませんので、問題は今先生がおっしゃられましたがどうやって周りが支えてやるか、なによりも主には田沢湖病院・角館病院ということになると思いますが、その病院事業管理者がこういうふうにするんだと言った時に、それに従って各病院がその方向で動いていただかなければということになりますので、こういう外から人を連れてくる時に一番心配なところではありますので、両病院の院長先生方・事務長さん方はじめ出来るだけ早くコミュニケーションをとっていただいて、出来るだけ病院事業管理者の先生に協力するというような体制をぜひ作っていただきたい。ありがちなことですが、こういうことをやりますと抵抗勢力がどうしても出てきやすいというのは想像にかたくないので、そのへんが1番だと思います。なによりも結局人間関係になってきてしまうかもしれませんが、そのへんをぜひ上手く運んでいただきたいというのが感想です。

## 総務部長

宮川先生は改革推進計画を既に読まれていただいぶ事情はおわりの状況です。飯田市もそうであ

ったように、2つの病院があって特に飯田市立病院のほうがすごく大きくて、もう1つのほうにすれば、今の角館と田沢湖のような関係というのが当然あったらと思う。そのまとめた苦勞をよく承知されていて私共の状況ということもよく認識をされています。病院間だけでなくもちろん市全体の医療というものを考えますと、診療所の関係、更には医師会との関係、もしくは組合病院とかとの関係も当然視野に入れて動いていただくということになると思いますし、そういう話しを既にされております。従って、この後色々なケース、例えば推進計画1つをとってももしかすれば先程先生が言われたようにニュアンス的に違うのではないかとされる部分があるかもしれません。当然そうならば管理者の意向のもとで軌道修正されていく訳ではありますが、そうそう大きくこれ自体は変わるものではないと考えています。ただなによりも仙北市の医療体系を考えていくうえでの総体的な役目ということをお願いしたいということ、病院にとってはそれぞれの病院の弱点がありますので補正・補足してもらおうというような役目もお願いしたいと考えておまして、着任をされますと医師会の先生方のほうにも診療所の先生方のほうにも、改めてまたご挨拶にお伺いをしたいと思いますのでよろしくお願ひします。

#### 委員長

医師会のほうとも是非とも早々にお話しをする機会を設けていただきたいと思いますと思いますが、特に両病院の院長先生とは早くお話しをしていただくようなかたちで進めていただきたいと思います。

#### 総務部長

先日、挨拶程度でしたが両病院には見えられまして、それぞれ院長・副院長の先生方と会って話しはされました。なかなか時間がなくて細かな話しはされていませんが、この後何回かそういう関係を作っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

#### 委員長

こちらからもそのようにお願ひしたいと思います。この件に関して他に何かありますか。

#### 委員

ホームページを今度新規に仙北市医療局で立てますが、田沢湖でも立てていますよね。そういうのは仙北市全体の1つにまとめてその中に田沢湖病院とかというそういうやり方ですか。1個1個例えば田沢湖病院のホームページ、仙北市のホームページとやると探すのになかなか全体を見渡して田沢湖はどうなっているとかというのがなかなか出来にくいと思ひます。だから1ヶ所にまとめてその中に分配するというやり方をやってもらえたらと思ひますが。

#### 事務局（医療局医療管理課）

ホームページにつきましては、今おっしゃられたとおり仙北市・田沢湖病院・角館総合病院それぞれ持っています。それにプラスして今回医療局を新たに追加ということで考えておまして、それぞれのリンク、それぞれのページを見れるような作りをしたいと考えているところですので、見る方が見やすいような検索しやすいようなホームページ作りをしていきたいと考えています。準備中ですのでご了解いただきたいと思います。

#### 委員長

是非医療局も含め仙北市のホームページからわかりやすくだっていけば必ずそのリンクにたどり着くというようなかたちに作っていただきたいと思います。他にありますか。それでは4番のその他ということになりますがこちらで何かありますか。委員の方々に何かこれまでのことでも他のことでも構ひませんが何かありますか。

事務局（医療局医療管理課）

大変失礼しました。資料7の説明が漏れていましたので簡単に説明をさせていただきます。

資料説明（事務局：医療局医療管理課）

- ・資料7 「仙北市医療局設置及び病院事業組織機構」

事務局（医療局医療管理課）

実は先生方の検証専門委員会の任期がこの3月31日までということになっていますが、この後管理者も着任されることですし、先生方非常にご多忙のこととは存じますが、もしよろしければこのままの検証委員会を継続したいと医療局のほうでは考えていますので何とかご承認のほどこの場を借りてお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

委員長

その件に関しては個々の委員にもう1度話しをしていただきたいと思います。質問ですが、医療局を田沢湖の健康増進センターに置いてあるということですが、病院事業管理者がこちらで執務される時もそちらのほうに席があるというかたちになるのですか。どちらで仕事をされるかたちになるのか。

事務局（医療局医療管理課）

基本的には医療局にすることになります。今管理者との打合せでは週1回ずつそれぞれの病院の外來の手伝いをしたいということがありますので、いずれ決裁等はこれから全て管理者が行なうこととなりますので、基本的な机は医療局に配置されます。ただ診療は病院行ったり来たりの状況が続くかと思しますのでよろしくお願いします。医療局は暫時今健康増進センターに置いていますが、いずれ新聞報道等でご承知のように角館総合病院の建築ということもこれから管理者が来れば進んでくる話しですし、そのあかつきには当然角館総合病院と医療局が合体して行政改革を進めるべきではないかという構想は持っています。

委員長

他に何かございますか。

それでは今日の会議はこれで終了とさせていただきます。長時間に渡りありがとうございました。

(終了 18:05)